

8月6日(木)発行

当日の感動を
すぐお届け!!

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



情熱から確信へ～

大野和士と都響の見事なショスタコーヴィチ



8月5日(水) 東京都交響楽団 撮影：青柳聡

8/5 東京都交響楽団

お客様の声から♪

産休に入ったので普段はなかなか来れないクラシックコンサート。ショスタコ素晴らしかった。お腹のあかちゃんも激しく反応してびくびくっと動いてました。(35歳・看護師・ミミ) / 鳥肌が立った。表現の振り幅がすごい。(46歳・会社員・じい) / 都響サウンドが爆発した素晴らしい演奏でした。ミュージアのホールと都響の相性もとても良いと思います。(59歳・会社員・ADえいき) / 大野さんのタクトのもと糸乱れぬ都響の演奏にブラボー! 今後もこのコンビにぞくぞくします。(50歳・会社員・新任支店長)

大野和士が指揮するショスタコーヴィチの「交響曲第5番」を実演で聴くのは、ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団を率いて日本ツアーを行った1992年以来23年ぶりだった。オーケストラは今年4月から音楽監督を務める東京都交響楽団(都響)。23年前はクロアチア紛争のさなか、戦場のオーケストラと苦難の日々をともにする青年指揮者の真摯な情熱に胸打たれた。今回は大野自身の確信に満ちた円熟と日本のオーケストラ、特に都響の表現力の向上に目をみはった。

第1楽章の出だしから並外れた気合いがこもり、そのテンションは第4楽章の終わりまで50分間、一度も緩まなかった。本人の努力とは全く関係ない理不尽な権力に巻き込まれ、極限の状況に追い詰められてなお、希望を失わない人間のつよさ、素晴らしさを見つめるショスタコーヴィチの大きな眼差し。大野は「革命」礼賛、圧政告発のいずれにもくみせず、より大きな人間性への賛歌として、楽曲を克明に再現していく。都響の弦はもともと5部(第1、第2ヴァイオリン、ヴィオラ、

チェロ、コントラバス)のバランスがよく、スマートでクールな音色を持ち味とするが、ここ数年は厚みと艶が加わり、長く日本のオーケストラの弱点とされてきた「サウンドアイデンティティー(音響の個性)の乏しさ」を急激に克服しつつある。今回も第3楽章ラルゴの始まりで、背筋が(いい意味で)ゾクッとするほどの音色に触れた。とりわけ第2ヴァイオリンの雄弁さは特筆に価する。第2楽章でのソロ・コンサートマスター、四方恭子のソロもまた、皮肉よりはヒューマニズムに傾斜して、指

揮者との解釈の一致を印象づけた。

金管楽器、木管楽器、打楽器がそれぞれ高水準のソロ、アンサンブルを保つ中で、フルート首席奏者の柳原佑介のソロは一段と際立つ音楽性を発揮した。

前半にはプロコフィエフのバレエ音楽「シンデレラ」の組曲第1番が演奏され、1990年代後半からドイツ、ベルギー、フランスの劇場で重要な仕事を続けてきた指揮者による、舞台を彷彿とさせる棒さばきを楽しんだ。

音楽ジャーナリスト 池田卓夫

19歳の気鋭レビュアー拓やん、サマーミュージックを往く!

作品の本質を抉り出す稀有な名演 東京都交響楽団



平岡拓也・大学生(19)

いよいよ始まった大野×都響の新時代。創立50周年を迎え、今秋には欧州楽旅も控える名門の凄みは、満場の聴衆を終始圧倒した。

公開リハから凄まじい緊張感がホールを包み、本番さながらの白熱した練習に期待が高まった。プロコフィエフのバレエ「シンデレラ」組曲は交錯する管弦楽の妙を精緻に再現、かつ

劇場人ならではの語り口で魅せる。後半のショスタコーヴィチ第5番では、今や有名曲となったこの作品が内に秘めた狂気を引き出すような熱演が繰り広げられた。そのままライブ収録しても遜色ないほどに高められた圧倒的なオケの機能性と、暴力的な強奏から沈痛な哀歌まで振れ幅大きく引き出した指揮者の手腕が、ピタリと合致した演奏に、喝采は止まなかった。

平岡さんのブログ「たくさん聴かな、あかんやん。」 <http://maestroinbal.blog.jp/>

現役の音大生たち大活躍！ 音楽大学オーケストラ・フェスティバル

ミュージックでは、プロオーケストラだけでなく、音楽家をを目指す若者たちも応援しています。サマ-ミュージックでも、洗足学園音楽大学と、本日出演の昭和音楽大学の市内2つの音楽大学の演奏がありますが、それ以外にも音楽大学の学生オーケストラによるフェスティバルを開催しています。

「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」は、首都圏の9つの音楽大学と、東京芸術劇場とミュージックの2つの公共ホールが協力しながら実施しています。

秋の大学別公演、春の選抜メンバーで結成する合同オーケストラ公演を行い、若手演奏家の交流・育成を目的としてい

ます。今回は、春の合同オーケストラ公演について詳しくご紹介いたします。

合同オーケストラの選抜メンバーは、各大学の先生方が、優秀な演奏者のリストを片手に一堂に会し、くじ引きの順に、大学側がパートを指名して決めていきます。各大学の精鋭たちを取りそろえた先生方の眼差しは真剣そのもの。その様子は、まさにプロ野球のドラフト会議のよう。

今年度(2016年3月公演)は、今回のサマ-ミュージックで東京フィルを指揮した大ベテラン、尾高忠明さんに指導から本番の指揮までをお願いしています。選抜メンバーの学生たちは、本番の約1週間前から合同

練習を行います。世界的に活躍するマエストロに指導していただく貴重な経験となるのではないのでしょうか。

これからの日本(そして世界!)の音楽界を担っていく、若き演奏家たちを応援していただければ幸いです。(す)



昨年度の音楽大学フェスティバル・オーケストラ

第6回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル

11月8日(日) 武蔵野音楽大学・洗足学園音楽大学
11月15日(日) 上野学園大学・東京芸術大学
会場：東京芸術劇場コンサートホール

11月28日(土) 昭和音楽大学・桐朋学園大学
12月6日(日) 東邦音楽大学・東京音楽大学・国立音楽大学
会場：ミュージック川崎シンフォニーホール

各日 15:00 開演 全席指定：1回券 ¥1,000 通し券 ¥3,000 チケット好評発売中

第5回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ (9大学選抜合同オーケストラ)

2016年3月25日(金) 19:00 開演 会場：ミュージック川崎シンフォニーホール
2016年3月26日(土) 15:00 開演 会場：東京芸術劇場コンサートホール

指揮：尾高忠明 S ¥2,000 A ¥1,500 チケット発売：11月7日(土)



パートナーショップのご紹介
**エンジョイ！
川崎！！**
Enjoy Kawasaki

板前ごはん 音音 (おとおと)

ラゾーナ川崎プラザ 4階
総合プログラムP.95
パートナーショップガイドP.3



「炊き立てのおいしいご飯が食べたい!」という時は、JR川崎駅直結ラゾーナ4階にある「板前ごはん音音」がおすすめ。店内は広く、落ち着いた雰囲気の中でゆったりとお食事ができます。

今回は豊富なメニューの中から

厚切り牛タンとろろ御膳を注文。牛タンはジューシーで食べ応えがあり、レモンをしばればさっぱりいただけます。喉越しの良いとろろにご飯が進みます!

サマ-ミュージックのチケットを提示すれば、ワンドリンクサービスし

てもらえます。コンサートの余韻が残る中、まっすぐ帰ってはもったいない!是非足を運んでみてください。

チケットセンター み

**サマ-ミュージック特典
半券提示で1(ワン)ドリンクサービス**

NEXT!! フェスタサマ-ミュージック

文・オヤマダアツシ

8月8日(土) 15:00 開演 東京シティ・フィル ハーモニック管弦楽団

指揮：高関健
ソプラノ：市原愛
メゾ・ソプラノ：林美智子
テノール：錦織健
バリトン：堀内康雄
合唱：東京シティ・フィル・コア

ベートーヴェン：序曲「レオノレ」第3番
ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱つき」



高関健

ききどころ

「第九」といえば年末だよ!と思っている方。それ、一度忘れちゃってください。名曲はいつでも名曲、それがたとえ真夏であろうとも、いや真夏こそスタミナたっぷりの音楽を。4人の人気歌手たちをソリストに迎えた東京シティ・フィルのコンサートは、ベートーヴェン演奏に一家言ある高関健の指揮で。「第九」は聴き慣れているという方も、一歩踏み込んだ表現の新鮮な演奏が聴けるはずだ。土曜日なので11時30分からの公開リハーサルを観て、ランチ後に「第九」を堪能するコースもお勧め。

S: ¥5,000 A: ¥4,000 B: ¥3,000
学生券 (25歳以下): 各席半額

ホール内
ショップで発売中
●サマ-ミュージック
チケットホルダー
640円(税込)
チケットだけでなくA4チラシ
三つ折も入ります。便利!

友の会キャンペーン実施中
サマ-ミュージック期間中に友の会入会受付
カウンターで入会された方にサマ-ミュージック
オリジナルチケットホルダーをプレゼント!
(~8月9日まで)
年会費3,000円でお得な6つの特典♪
詳しくは友の会入会カウンター(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

友の会会員カード提示で
ミュージック川崎駐車場
1時間無料サービス



当日の感動をすぐお届け!!

毎日
日刊サマ-ミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza



管理課の
新米 U

この春転職してきた新人です。山あいのこのじんまりとした町から、一気に大都会・川崎へやってまいりました。川崎はほんとうに大きいですね。ミュージック川崎周辺にはショップも多く、お昼ごはんの選択が豊富に増えています。毎日嬉しい悲鳴をあげています。大都市にふさわしい大ホール、そして一大イベントサマ-ミュージック。普段なら公演翌日は一息つけるのに、そんな暇などありません。後方支援部隊としては、みんなの体調が気になりますか?お休みの時間ありますか?水分摂ってますか?と、ついついおかしなモーションになってしまっています(笑)

ご来場の皆様も連日の暑さに負けないよう、よく食べよく飲んで(呑み)楽しんでください。音楽を聴いてこれ大事ですよ!元気に夏を乗り切りましょう!

スタッフ
日誌